



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	28-5079-0	版	2.00
発行日	2023/11/24	前発行日	2021/03/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M(TM) Scotch-Weld (TM) 瞬間接着剤 IG40H

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H227	可燃性液体
H319	強い眼刺激
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

組織を急速に接着することがある。 眼や皮膚への接触を避ける。まぶたが接着した場合は無理に開かない。皮膚に付着したときは直ちにぬるま湯につけ、強くこすらない。衣類を介して接触すると、熱傷することがある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	95
ポリメタクリル酸メチル	9011-14-7	< 7.0
ヒドロキノン	123-31-9	0.25

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合：すばやく暖かい水に浸し、引き剥がす際に無理な力がかからないようにする。付着物を取り除けない、あるいは唇、口に付着した場合は医療機関を受診する。炎症が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上、眼を洗浄する。直ちに医療機関を受診する。無理に眼を開けてはいけない。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
刺激性蒸気あるいはガス
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置くこと。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。 アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ヒドロキノン	123-31-9	ACGIH	TWA : 1 mg/m3	A: 動物における発がん性あり、皮膚感作性あり

ヒドロキノン	123-31-9	ISHL(濃度基準値)	TWA (8時間) : 1mg/m3	25℃1気圧空气中
ヒドロキノン	123-31-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。
シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	ACGIH	TWA:0.2 ppm;STEL:1 ppm	呼吸器/皮膚感作性

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m3 : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。綿製手袋は着用しない。

推奨される手袋の材質 : ネオプレン

ニトリルゴム

天然ゴム

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する :

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	液体
色	無色

臭い	シャープな刺激性。
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点、初留点及び沸騰範囲	55 °C [試験条件： 266.644 Pa]
引火点	80 °C [試験方法：タグ密閉式]
蒸発速度	無視できるレベル。
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	6.7 Pa [試験条件： 20 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	4.5 [参照基準：空気=1]
密度	1.05 g/ml [参照基準：水=1]
比重	1.05 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	400 - 600 mPa-s
揮発性有機化合物	<=6 g/l [詳細：EU VOC含有量。]
揮発分	93 - 97 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	<=6 g/l
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	<=0.6 %
平均粒子径	適用しない
かさ密度	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

危険な重合が起こることがある。 大量の場合にのみ発生する。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強塩基
アミン類

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

ただちに皮膚が接着される。軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。衣類を介して接触すると、熱傷することがある。

眼に入った場合

ただちに瞼が接着される。眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
シアノアクリル酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリメタクリル酸メチル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリメタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキノン	皮膚	ラット	LD50 > 4,800 mg/kg
ヒドロキノン	経口摂取	ラット	LD50 302 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	ウサギ	軽度の刺激
ポリメタクリル酸メチル	ウサギ	刺激性なし
ヒドロキノン	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	ウサギ	激しい刺激
ポリメタクリル酸メチル	ウサギ	軽度の刺激
ヒドロキノン	ヒト	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	ヒト	区分に該当しない。
ヒドロキノン	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シアノアクリル酸エチル	In vitro	変異原性なし
ヒドロキノン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ヒドロキノン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ヒドロキノン	皮膚	マウス	発がん性なし
ヒドロキノン	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキノン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ヒドロキノン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ヒドロキノン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シアノアクリル酸エチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ヒドロキノン	経口摂取	神経系	臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
ヒドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキノン	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	40 日
ヒドロキノン	経口摂取	骨髄 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	9 週
ヒドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 50 mg/kg/day	15 月
ヒドロキノン	眼	眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分 3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリメタクリル酸メチル	9011-14-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは	該当なし	該当なし	該当なし

			不足している。			
シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ヒドロキノン	123-31-9	液状化	実験	2 時間	IC50	71 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.053 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.044 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.061 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	32 日	NOEC	>=0.066 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.0015 mg/l
ヒドロキノン	123-31-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.0029 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリメタクリル酸メチル	9011-14-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヒドロキノン	123-31-9	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	70 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリメタクリル酸メチル	9011-14-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヒドロキノン	123-31-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.59	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の3）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令 1 8 条の2 名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令 1 8 条有害物質（表示物質）
消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
シアノアクリル酸エチル	2-シアノアクリル酸エチル エステル	該当	該当
ヒドロキノン	ハイドロキノン	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1：製品用途 情報の追加.
セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正.
セクション 2：GHS分類 情報修正.
セクション 2：健康有害性 情報修正.
セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション 3：成分表 情報修正.
セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション 5：燃焼時有害性の表 情報修正.
セクション 7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション 8：mg/m3 記号 情報の追加.

セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 眼 情報修正.
セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 9 : 融点/凝固点 情報修正.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
セクション 9 : 揮発分 情報修正.
セクション 9 : pH情報 情報修正.
セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報修正.
セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報修正.
セクション 10 : 燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 呼吸器感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 15 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 15 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項 : この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。